


平成22年11月24日

浜田市議会議長 牛尾博美 様

議員名 山田 義喜 

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったのでその結果を報告します。

### 記

1. 期 間 平成22年11月9日(火)～11月11日(木)

2. 視察又は訪問先

和歌山県田辺市  
枚津野カレン (ほか)

3. 調査経費 32,512円

4. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



# 調査研究活動の概要

## 1. 上杖津地区の概要

調査目的である「廃校舎を活用した都市と農村を結ぶ体験型グリーンツーリズム＝杖津野ガルデン」ということから人口減少が進む中山間地域を想定していたが、実際には児童・生徒数が増加して校舎が手狭になってきたため、小中学校を移転新築することになり、旧校舎の取り壊し計画が持ち上がったことから地域住民が「思い出の校舎を残そう」との思いから、この事業取組みが始まったことを、現地へ行って初めて知った。

田辺市は平成17年5月に広域合併して誕生した、近畿最大の面積を有する市で（人口約8万2千人、面積1,026km<sup>2</sup>）、今回視察した上杖津地区は新田辺市の西に位置するみかんや梅の栽培が盛んな農村地域である。自然環境、住環境、交通の利便性の良さから隣接する町村や田辺市街地からの人口流入、農地の宅地化が進む農村地域でありながら人口が急激に増加している地域である。

## 2. 事業概要

事業名	田辺市都市農村交流促進施設整備事業		
実施年度	平成19年、20年度		
竣工	平成20年10月1日（平成20年11月1日 火-70%）		
事業主体	株式会社 杖津野（地元農家を中心に本事業のために設立）		
事業目的	農をテーマとした交流活動により地域経済の活性化を図る		
事業内容	体験交流施設	1棟 707m <sup>2</sup>	37,479千円
	農家レストラン	1棟 80m <sup>2</sup>	2,158千円
	宿泊施設（22人室）	1棟 290m <sup>2</sup>	50,670千円
			<hr/> 109,730千円

財源内訳 国 50% 県 12.5% 市 12.5%  
地元 25% (26,130千円)

## 補助対象外事業

市民農園 70区画  
1区画 50㎡ 年間利用料 30千円  
木-ナ-樹 みかん 700本 梅 50本  
年間利用料 1本あたり 20千円

## 特徴的なこと

### 愛郷会

昭和52年和歌山県で初めての社団法人「愛郷会」が設立され、村の共有財産を管理して来ている。それで得られた収益は個人に分配せず、地域全体の公益のために使うなど、平成紀に及ぶ地域づくりの積み重ねがあったことが、事業実施に結びついた大きな要因であったと理解した。

### 用地について

愛郷会が市から約45,000千円で旧学校用地を購入、併せて愛郷会所有のプール用地と市所有の旧学校用地を交換(約55,000千円相当)。合計約1億円相当の土地を(株)村津野が愛郷会から借り受けている。

### 施設について

体験交流施設は旧小学校の昔の教室をそのまわりリニューアルしたもので、耐震改修主体の経費削減がなされている

農産加工体験室、交流室、会議室、更衣室等がある

農家レストランは郷土料理を中心に約30種以上のランチバイキング方式で、食事場所は庭やデッキも利用され、お客の多いときは体験交流施設も使用される

平日で約100人、週末には200人以上のお客が訪れる最も稼ぎの多い場

宿泊施設は旧校舎を改造するより新築した方が経費削減、また機能的にも有利との判断で新築、長期滞在にも対応できるようにキッチンも備えつけられ、宿泊料金も部屋キヤージ型で設定されている

その他、パン工房が自己出資で建設されている。

3. 所感 「杖津野ガレテン」が昨年度約6万人の利用で賑わいをみせているのは、50年以上も取り組んできた「農」を基盤にすえた地域づくりが実を結んだといえる。

魅力ある地域は、ヒト・モノ・コト・地域のあらゆる資源を再発掘、再確認し地域に生かす取り組みが行われている。

大阪など大都市圏に近い、地理的に有利な面があるが、浜田市にも広島圏を抱えている。海、山、川、温泉と自然環境も似通っており、むしろ有名なみかんの急須地、南高梅は住宅に接して空き地が無いほど植えられて、一产地づくりの意欲と拍力を感じた。

産地化するためには浜田市だけでなくもっと広域な取り組みが必要であると感じた。

近い将来、学校の統廃合は避けられない地域の寄り処であった施設を、いかに新たに活かすことが出来るのか、今課題となっている遊休資産も含め、今回の視察を生かしたい。

また、小さな産直市の成功事例を見に来たが「身の丈に合ったことをすることが大切」との担当者の言葉が印象強く残った。

以上報告いたします。